

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
---------	-------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 商工政策課長 新谷 伊子 電話番号 0852-22-5286

事務事業の名称	コンベンション誘致推進事業	
目的	(1) 対象	産業交流会館の利用者、コンベンション（会議、展示会、イベント等）の主催者
	(2) 意図	県内でのコンベンション開催を促進する。
事業概要	島根県の産業振興、地域の活性化等を図るため、県内へのコンベンション（学会を含む。）の誘致を促進する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	(一財)くにびきメッセが開催支援したコンベンションの参加者数	目標値		50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	人
	式・定義	(一財)くにびきメッセが開催支援したコンベンションの参加者数	実績値	41,660.0					
			達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	28,524	52,000
うち一般財源(千円)	28,524	52,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

コンベンション開催件数の減少や他県との競争により県内コンベンション誘致環境は厳しい状況にあるが、(一財)くにびきメッセによる長期間継続した誘致活動や県の学会等開催経費に対する助成制度の効果などから、件数は順調に推移した。ただし、大規模大会が少なかったため、指標である参加者数は目標を下回った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

成果指標も常に目標を上回っているほか、学会等開催支援補助金等対象コンベンションの経済波及効果は次のとおりであり、成果をあげている。

平成23年度	24件	1,442百万円
平成24年度	57件	3,947百万円
平成25年度	68件	3,438百万円
平成26年度	30件	1,041百万円
平成27年度	46件	1,504百万円

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

県西部及び隠岐地域でのコンベンション開催実績が少ない（平成27年度：7件、参加者数2,170人）。

②困っている状況が発生している「原因」

県外からのアクセスの不便さ、大規模な会場の不足、宿泊施設の不足等コンベンション誘致に不利な条件があることが考えられる。

③原因を解消するための「課題」

小規模なコンベンションを含め、誘致を推進する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成29年度以降に県西部・隠岐地域で開催されるコンベンションについて、小規模開催にも助成できるよう、補助要件をさらに緩和し、平成28年度からの誘致活動を支援していく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。